

## 産科医療補償制度 第 108 回原因分析委員会 議事要旨

日 時 : 2025 年 8 月 20 日 (水) 16 時 00 分～17 時 13 分

場 所 : 公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者 (委員) : 安達久美子、石川浩史、茨聡、上塘正人、川田綾子、楠田聡、  
佐藤昌司、下屋浩一郎、鈴木俊治、鈴木利廣、関沢明彦、  
豊田郁子、馬目裕子、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋 (敬称略)

### 議事概要 :

#### 1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況等について

○2025 年 7 月末時点で累計 4,267 件の原因分析報告書が承認されたことが報告された。また、2022 年度より実施している報告書作成期間を概ね 1 年に短縮する取組みの状況等が報告された。

○同一分娩機関での複数事案目の原因分析の結果、同じ診療行為等において医学的に厳しい評価が繰り返された場合に一層の改善を要請する「別紙 (要望書)」対応について、2025 年 7 月末時点の累計実施件数 152 件、改善要望項目としては「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」が最も多いこと等が報告された。

#### 2) 原因分析報告書の公表・開示および原因分析のデータ等を活用した研究等の状況について

○保護者と分娩機関により提起された原因分析報告書要約版の公表差止め訴訟について、2024 年 9 月に原告請求棄却の第一審判決 (地裁) が出され、2025 年 3 月に控訴審 (高裁) でも請求棄却の判決が出されたが、上告はなく当方勝訴が確定したことが報告された。

○原因分析報告書全文版 (マスキング版) については、開示方法を変更した 2015 年 11 月以降 2025 年 7 月末までに 18 件の利用申請があり延べ 5,175 事例の報告書を開示したこと等が報告された。

○産科制度データについては、新しい項目として原因分析報告書要約版の「脳性麻痺発症の原因」を追加し、2025 年 3 月より利用申請の受付を開始したことが報告された。

#### 3) 産科医療補償制度に関するアンケートについて

○本制度の評価や運営上の課題を確認・検証し、今後の制度の充実に資する情報を収集する目的で、加入分娩機関、補償対象児の保護者、一般の妊産婦・保護者の 3 つのグループを対象に、2024 年 8～10 月に実施されたアンケートに関し、制度の評価や原因分析に係る設問についての回答結果が報告された。

○制度に関するアンケートとは別に、原因分析に関するアンケートを本年 9 月に実施予定であることとその概要が報告された。

#### 4) その他

○2025 年 10 月スタート予定であった本制度の新システムは、画面処理速度の改善に向けた画面構成等の変更が必要となったため、スタート時期を 2026 年 3 月初旬に延期することが報告された。

○前回の原因分析委員会において、東京地方裁判所との連携について報告した際に委員から出された質問に関し、確認結果が報告された。

以上